

プラネタリー・バウンダリー “惑星の限界”への処方箋

環境・福祉政策が生み出す新しい経済

「惑星の限界」、私たち人間や様々な生物が暮らし生きているこの星の限界はどこまでなのか。人類のこれまでのそしてこれからの経済活動がこの星を破壊するのではないのか。

それらを考えると、人間の幸せ、「幸福とは何か」を問い直さなければならぬという課題も生まれる。

こうした危機意識・課題について「環境・福祉政策」などを、ともに考察する機会になれば幸いです。

2023年 **9/2** (土)

▶ 14:00~16:30 (開場 13:30)
▶ 「全電通労働会館」多目的ホール



国谷 裕子 氏
ジャーナリスト

駒村 康平 氏
慶應義塾大学
経済学部教授




諸富 徹 氏
京都大学大学院
経済学研究科教授



堅達 京子 氏
NHK エンタープライズ
エグゼクティブ・プロデューサー



内田 由紀子 氏
京都大学
人と社会の未来研究院教授



総司会
渡辺 真理 氏
アナウンサー



喜多川 和典 氏

公益財団法人 日本生産性本部
コンサルティング部 エコ・マネジメント・センター長



山下 潤 氏
九州大学大学院
比較社会文化研究院教授

プログラム

第1部

- 基調講演 **国谷 裕子 氏**
- 論点報告
「資本主義経済の再構築としてのSDGs研究会」
研究会メンバー

第2部

- パネルディスカッション
ファシリテーター **国谷 裕子 氏**
パネラー **堅達 京子 氏、駒村 康平 氏、諸富 徹 氏**

※プログラムの内容等は、変更になる場合がございます。

お申し込みは、全労済協会ホームページへ

- 申込期間：2023年7月18日(火)～8月10日(木) 17時まで
「当日参加」および「後日視聴」を同時募集(ライブ配信はありません)

定員 **300** 名

参加費無料、事前申込制
応募者多数の場合は抽選



※全労済協会 HP での
お申し込み受付は、
7月18日(火)からと
なります。

主催 全労済協会

後援

- 日本労働組合総連合会
- 教育文化協会
- 労働者福祉中央協議会
- 全国労働金庫協会
- 日本共済協会
- 日本生活協同組合連合会
- 全国中小企業勤労者福祉サービスセンター
- 日本退職者連合
- 日本協同組合連携機構

共催 こくみん共済 coop、日本再共済連

全労済協会 調査研究部
〒151-0053
東京都渋谷区代々木 2-11-17
5F 3rd 階 加入新宿 5F

登壇者プロフィール



国谷 裕子 (くにや ひろこ) 氏
ジャーナリスト

米ブラウン大学卒。1993年から2016年までNHK「クローズアップ現代」キャスター。現在、SDGs(持続可能な開発目標)の取材・啓発を中心に活動を行っている。東京藝術大学理事(SDGs推進室長)、慶應義塾大学大学院特別招聘教授、自然エネルギー財団理事、FAO(国連食糧農業機関)日本担当親善大使。02年菊池寛賞、11年日本記者クラブ賞、16年ギャラクシー賞特別賞受賞。著書『キャスターという仕事』(岩波新書)。



堅達 京子 (げんだつ きょうこ) 氏
NHK エンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー

早稲田大学・ソルボンヌ大学留学を経て、1988年、NHK入局。クローズアップ現代やNHKスペシャルなどを制作。NHK環境キャンペーンの責任者を務め、気候変動、SDGsなどをテーマに多くのドキュメンタリーを制作。NHKエンタープライズに転籍後、「2030. 未来への分岐点」などを制作。日本環境ジャーナリストの会副会長。東京大学未来ビジョン研究センター客員研究員。著書に『脱プラスチックへの挑戦 持続可能な地球と世界ビジネスの潮流』など。

「資本主義経済の再構築としてのSDGs研究会」メンバー



駒村 康平 (こまむら こうへい) 氏
慶應義塾大学経済学部教授、
ファイナンシャル・ジェロントロジー研究センター長

慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。博士(経済学)。著書に『年金と家計の経済分析』、『福祉の総合政策』、『最低所得保障』、『日本の年金』、『社会政策』、『エッセンシャル金融ジェロントロジー』など。主な公職に、2009-2012年厚生労働省顧問、2010-社会保障審議会委員、2021年より臨時委員、2012-2013社会保障制度改革国民会議委員。

主査



諸富 徹 (もろとみ とおる) 氏
京都大学大学院経済学研究科教授

同志社大学経済学部卒業。京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。1998年横浜国立大学経済学部助教授、2002年京都大学大学院経済学研究科助教授を経て、2010年から現職。この間に、内閣府経済社会総合研究所客員主任研究官、ミシガン大学客員研究員等を歴任。著書に『私たちはなぜ税金をおさめるのか-租税の経済思想史』(租税資料館賞)、『資本主義の新しい形』(第11回不動産協会賞)など。

副主査



内田 由紀子 (うちだ ゆきこ) 氏
京都大学人と社会の未来研究院教授・院長

京都大学教育学部教育心理学科卒。京都大学大学院人間環境学研究科博士課程修了。博士(人間・環境学)。専門は文化心理学・社会心理学。ミシガン大学、スタンフォード大学各客員研究員、京都大学こころの未来研究センター助教、准教授を経て、19年より教授。2019年~2020年スタンフォード大学行動科学先端研究センター(CASBS)フェロー。著書に『これからの幸福について 文化的幸福観のすすめ』など。

委員



喜多川 和典 (きたがわ かずのり) 氏
公益財団法人日本生産性本部コンサルティング部エコ・マネジメント・センター長、
上智大学大学院非常勤講師

長年にわたり、行政・企業の問題に関わるリサーチ及びコンサルティングにあたる。著書に『サーキュラーエコノミー 循環経済がビジネスを変える』、『プラスチックの環境対応技術』(いずれも共著)など。経済産業省循環経済ビジョン研究会委員(2018年度~2019年度)、NEDO技術委員、ISO TC323 Circular Economy 国内委員会委員(2019年度~2022年度)。

委員



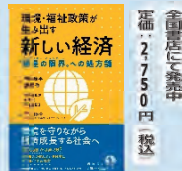
山下 潤 (やました じゅん) 氏
九州大学大学院比較社会文化研究院教授

1995年にルンド大学(スウェーデン)で博士号取得、九州大学大学院比較社会文化研究科助手。1997年に長崎大学環境科学部助教授、2000年に九州大学大学院比較社会文化研究院助教授を経て現職。これまで、エジンバラ大学やロンドン大学等で客員研究員や日本学術会議の連携会員等を務め、OECDの環境情報作業部会や気候行動に係る国際プログラムに従事。著書に『環境都市政策入門』など。

委員

「資本主義経済の再構築としてのSDGs研究会」とは

2022年2月に発足し、持続可能な経済システムはどうあるべきか、その姿を探究した研究会です。人々の際限のない消費欲望が経済成長につながるのか、それが本当に人類に幸福をもたらすのか、経済指標の見直しも含めて、5人の研究会委員がそれぞれのお立場から資本主義経済の再構築としてのSDGsを考察しました。2023年5月には、成果書籍を発刊しています。



わたなべ まり
総合司会 渡辺 真理 氏

1967年神奈川県横浜市生まれ。1990年TBSにアナウンサーとして入社。1998年フリーに。現在は「知られざるガリバー」(テレビ東京)出演。ウェブサイト「ほぼ日刊イトイ新聞」ではお菓子のコラム「マリーな部屋」を連載中。



【お問い合わせ】

「全労済協会シンポジウム」事務局
竹田印刷株式会社内

TEL: 048-912-0703

受付時間: 10時 - 17時 (土日祝除く)

※通話料が発生します。

事務局開設期間: 2023年7月18日~9月4日

(土日祝および8/14~16除く)

*お申込に関するご案内事務局を竹田印刷株式会社に委託しています。

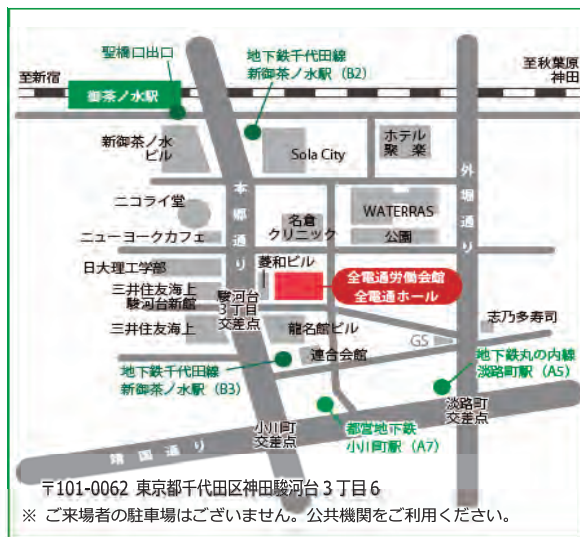
※9月5日以降は下記「全労済協会 調査研究部」へご連絡ください。

TEL: 03-5333-5127 [平日 9:00~17:15]

会場のご案内

一般財団法人「全電通労働会館」2F 多目的ホール

- ▶ **最寄駅**
- JR中央・総武線 御茶ノ水駅 (聖橋口出口 徒歩5分)
 - 東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 (B3出口 徒歩5分)
 - 東京メトロ丸の内線 淡路町駅 (A5出口 徒歩5分)
 - 都営地下鉄新宿線 小川町駅 (A7出口 徒歩5分)



〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3丁目6

※ご来場者の駐車場はございません。公共機関をご利用ください。